

金融広報中央委員会では、「金融経済教育推進会議」などを通じて関係団体と連携して活動しています。

日本証券業協会

若い世代の

金融リテラシー向上を支援

日本証券業協会では、中立かつ公正な立場から国民各層の「金融リテラシー」向上を図るため、それぞれの世代、知識、経験に応じた支援策を実施しています。

学校向けには、中学生、高校生が会社の経営者になって仲間と協力して事業を行うゲームなどに取り組むことで、金融や経済の仕組みと働きについて関心と理解を深めながら学べる教材、「株式会社をつくろう！～ミスターXからの挑戦状～」(中学校向け)、「ケーザイへの3つのトビラ 経済探求の旅に出よう」(高等学校向け)を制作し、無償で提供しています。これらの体験型教材は、25年度はそれぞれ全国の学校約350校、生徒約3万2000人に利用されました。

また、毎年、全国の中学校・高等学校の社会科・公民科等の教員を対象に、最近の経済や金融・資本市場の動向や課題など学校の授業に役立つテーマを提供する「金融経済セミナー」を開催し、25年度は全国11会場、616名の参加実績がありました。社会人向けには、「投資の日」記念イベントの実施や各種小冊子の無償頒布・各

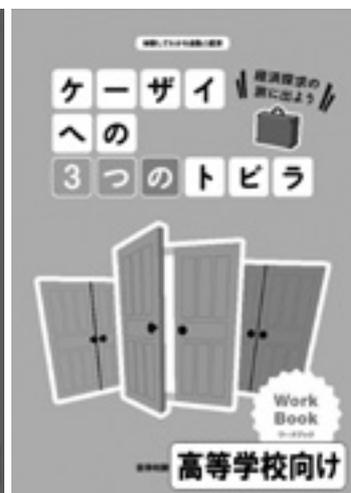
種動画コンテンツの本協会ホームページでの公開などを行っています。また、今年からNISA(少額投資非課税制度)が導入されたことに伴い、投資未経験者・初心者の方々に支援する「金融リテラシー習得講座(NISA特別対応編)」を実施しています。

さらに、今年度は、大学生を対象とした事業にも重点を置き、従来より本協会が主催する大学生向けセミナーに加え、新たに大学のキャリアセンター等と連携し、大学に講師を派遣する「金融リテラシー出前講座」を実施しています。これらの大学生向けセミナー等では、パーソナルファイナンスをはじめ、経済・金融の基礎知識等を学んでもらうとともに、大学生のキャリア教育に資する観点から、証券市場の役割や証券会社の業務等についても理解を深めてもらいたいと考えております。

本協会の金融・証券知識の普及・啓発活動の詳細については、ホームページ(<http://www.jsda.or.jp/manabu/index.html>)で公開しておりますので、是非ご覧ください。



株式をつくらう!
～ミスターXからの挑戦状～



ケーザイへの3つのトビラ
経済探求の旅に出よう



平成25年度「投資の日」記念イベント



ひとりひとりの夢をかたちに
日本FP協会

特定非営利活動法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

ファイナンシャル・プランナーによる 無料相談会や出張授業を実施

特定非営利活動法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会（以下「日本FP協会」）は、金融広報中央委員会に設置された「金融経済教育推進会議」に委員団体として参加し、「最低限身に付けるべき金融リテラシー」およびそれを年齢層別に具体化、体系化した「金融リテラシー・マップ」（以下「マップ」）の浸透を図るため、他の委員団体と連携して様々な活動を行っています。

「最低限身に付けるべき金融リテラシー」と「マップ」のうち、家計管理、生活設計、適切な金融商品の利用選択といった分野を中心に、日本FP協会は、毎年11月に「FPの日[®]」を開催して全国50支部で社会人向けの無料セミナーや相談会を開催しています。「FPの日[®]」は、生活者の皆様にファイナンシャル・プランナー（※）を身近に感じてもらう、ファイナンシャル・プランニングや生活設計の重要性を知っていただく機会になっています。また、今年6月には金融庁、金融広報中央委員会、東京都消費生活総合センターなどと「家計管理と生

活設計について考える相談会」を共催し、定員一杯の21組の個別無料相談をお受けしました。

高等学校や大学等からの依頼に対しては、「パーソナルファイナンス教育インストラクター」として登録された当協会会員のファイナンシャル・プランナーが「10代から学ぶパーソナルファイナンス」テキストを活用した出張授業を行っています。

このほかにも、日本FP協会では、幅広い世代に対して金融経済教育用小冊子の制作・普及を進め、お金の知識をウェブ上で学べる「くらしに役立つマネークイズ」(<http://www.jafp.or.jp/knowledge/mquiz/index.html>)を提供しています。

※ファイナンシャル・プランナーとは、家計にかかわる様々なアドバイスや資産設計を行い、合わせてその実行を支援する専門家です。日本FP協会では、高い倫理観と実務能力を兼ね備えたCFP[®]認定者・AFP認定者の養成、認証を行っています。



10代から学ぶパーソナルファイナンス



出張授業の様子